

[戻る](#)

<環境保全に関する取組状況の紹介>

大津板紙株式会社

1. 古紙のリサイクルと環境保全

オフィス古紙回収(現状秘密書類等は焼却処分が多く大気汚染、資源の損失、地域財政の損失を招いている)し、再生することで社会全体の焼却負荷の減少、大気汚染の減少、ならびに資源保護に貢献する。

具体的には各団体に呼びかけ啓蒙、平成12年度には月間200tに達しましたが、平成13年度は月間250t回収目標としてすすめています。

2. 省エネルギーの推進と環境保全

毎年1%のエネルギー削減を目標にすすめています。

3. 臭気対策による地域環境の改善

平成12年度は貯留槽における腐敗防止対策をはかる一方、発生時の消臭対策を標準化実施してきましたが更に臭気対策を強化、苦情ゼロをめざします。

4. 排水対策による琵琶湖の環境保全

基準値をクリアする事は勿論、節水にも取り組み環境負荷の低減を図っています。

平成12年度は4%節水を達成したが、平成13年度は更に節水努力を進めていきます。

5. 廃棄物の分類と減少

(1) 製紙糟は大王製紙スラッジボイラーの燃料として再資源化しています。

(2) その他廃棄物(プラスチック、土砂コンクリート片、木屑、空き缶等)は平成12年度、分別回収を完成、平成13年度はリサイクル率100%目標としてすすめています。

6. 煤煙の見た目対策による地域環境改善

規制基準値クリアは勿論のことであるが、外部より煙として見える外観上の対策として技術検討を行っています。平成13年度は消煙技術の情報収集、テスト、設備コスト等の検討を行い、技術確立をめざす、更に行政の応援、援助をいただき対応していきたいと考え進めています。

7. 地域社会との交流と貢献

各週金曜日周辺の市道清掃を行い地域の環境維持に努めております。